

Title: 「明日はどっちだ」



徳田 敬太
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べ歩き
好き。世界という大海
へ向け、今、旅立と
うとしています。

● 最近のエントリー

- 📅 フランス 11
(2010.07.30)
- 📅 フランス 10
(2010.07.29)
- 📅 フランス 9
(2010.07.29)
- 📅 フランス 8
(2010.07.16)

● アーカイブ

- 📅 2010年10月
- 📅 2010年09月
- 📅 2010年08月
- 📅 2010年07月
- 📅 2010年06月
- 📅 2010年05月
- 📅 2010年04月
- 📅 2010年03月
- 📅 2010年02月
- 📅 2010年01月
- 📅 2009年12月
- 📅 2009年11月
- 📅 2009年10月
- 📅 2009年09月
- 📅 2009年08月
- 📅 2009年07月
- 📅 2009年06月
- 📅 2009年05月
- 📅 2009年04月
- 📅 2009年02月
- 📅 2009年01月
- 📅 2008年12月
- 📅 2008年11月
- 📅 2008年10月
- 📅 2008年09月
- 📅 2008年08月
- 📅 2008年07月
- 📅 2008年03月
- 📅 2007年11月
- 📅 2007年10月
- 📅 2007年08月
- 📅 2007年06月
- 📅 2007年05月
- 📅 2006年10月
- 📅 2006年09月
- 📅 2006年08月
- 📅 2006年07月
- 📅 2006年06月
- 📅 2006年05月
- 📅 2006年04月
- 📅 2006年03月

● ブックマーク



明日はどっちだ > 2010年07月 アーカイブ

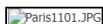
10.07.30

フランス 11

さてさて、華の都と呼ばれるパリの生活も終わり。

最後に街の全景が見たくてエッフェル塔へ。

それにしてもいい天気。
こんなに天気の良いのは、この時期だけなんだとか。
空は快晴で青い。



「歩いて上まで行ったほうが楽しいよ。」

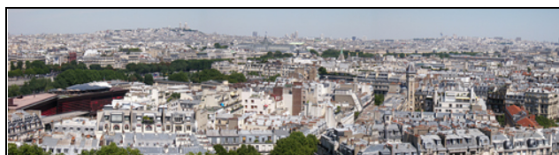
歩いて塔の2段目まで行けます。
そこから先、てっぺんまではエレベーター。



その言葉通り、歩いた方がゆっくり、じっくり街も塔も見れます。

街と構造がエッフェル塔の鉄の間から入ってくるよう。

それにしても高層の建物が少ないこと。

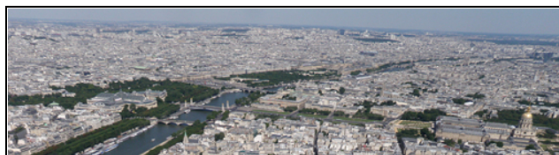


今はバカンス、さらに世界有数の美しい都ですから観光客がたくさん。
すごい混雑です。
2段目から塔の最上部展望台までのエレベーターに乗るのに30～40分並んだと思います。



しかし、てっぺんからの景色はまさに絶景。
パリが360度見えるので楽しい！

ここからは、セーヌ川、ルーブル、オルセー、アンバッドなどなど。





凱旋門。



パリではよくほんとに迷子になりました。

自分ではまっすぐ行ったつもりが、全く別の方向へ行っていたこともしばしば。
放射状に道が伸びているためらしいです。
でも大丈夫。
通りには全て名前が乗っているので地図があれば迷子にはなるまい。



パリでは一際目立つモンパルナスタワーがあちっささ。
エッフェル塔に比べたら小指みたいなもんですかね。高さが。

だから本当に、ゼーンぶ見えます。

パリが華の都と呼ばれる所以が、
街が花咲のように計画されて造られたと思う人はぜひ
自らの目で確かめてください。

かってに自分で考えた所以ですが。。



エッフェル塔に上りたい人は、そりゃたくさんいます。

来て、上って帰るまで、ちょっとばかりの時間が必要です。



パリではよく見かける自転車。
その名をベリブ。
ほんとにやたら乗ってる人を見かけます。
だがしかし、自分は乗る機会がなくシステムはよくわかりませんが
どうやら最初の数十分が無料のようです。
ちなみに、この貸し自転車システム発祥の地はリヨンだとか。

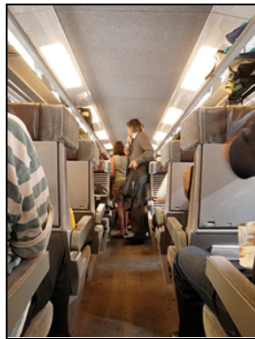
と、太陽の黄金色を自らの金で我もと主張するように輝き反射し続ける2像のいるオペラ。
シャガールの天井画が有名。
もちろんオペラ座の怪人は今でもいます。かな？



そして、またユーロスターに乗り
パリ北駅よりロンドンへ。2時間くらい。



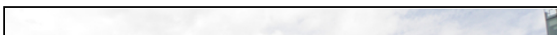
フランスでは定番のオレンジーナを片手に忘れずに。



ロンドンに戻ってきました。一時だけ。

マレーシアに帰国しなければなりません！！
ほんとは一泊したい！
やはり自分はパリよりロンドンの雰囲気のほうが好きです。
パリジャンへの道は閉ざされてしまったのでしょうか。

ロンドン、ビクトリア駅の近くからバスに乗りスタンテッド空港へ。





なんて名残惜しいことか。

楽しかった。

そして、勉強になりました。

なによりも写真、考え方、自らの至らなさ、不足さ、全て。
全てをたわしで洗われた、洗った旅となりました。

そして、やはり世界は高い。



この素晴らしい欧州旅行で再会をした友達、出会った人たち、お世話になった方々。

全てに感謝です。

みなさんがいなければ、こんなに楽しさが長くきらきらにならなかった。

ありがとう。

また行きたい、ぜったいに。

今度こそ良い写真を抱えて。

欧州ツアー 終

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.30 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[明日はどっちだ](#) > 2010年07月 アーカイブ

10.07.29

フランス 10

リヨン歴史地区をふらふら。

友人はあまり好きくないらしく、
一人で歴史地区を散策。

少しどんよりと雲が落ちています。

しかし、それでも良い。

夏とはいえこんな日は涼しい。



ローマ時代の劇場も2つ残っています。

この時期にはたくさんの音楽家らを呼んで
コンサートをやるらしく準備をしてました。

残念ながら開催前にリヨンを去りましたが、

こういうところで音楽を聴くことを一度やってみたいですね。





リヨンには丘があって、その上には
バジリクと友人が呼んでいた教会。

昔、ペストが流行した時に
神様がペストを街の手前で防いで守ってくださったんだよ。とのこと。
そして、当時の人々は感謝の意を込めて教会に金の像を置いたとか。

この教会は本当に目立つので、リヨンの観光名所の一つ。
立派な教会にたくさんの観光客が訪れます。

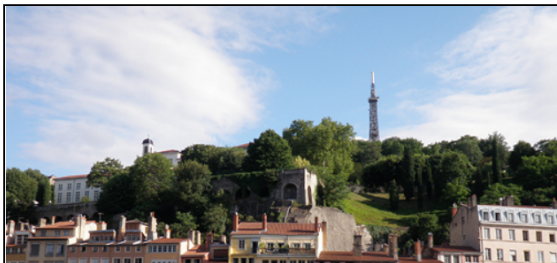


その教会からの眺め。

街並が綺麗で世界遺産に登録されるだけあります。



丘を下り、
川沿いに建つ家々の色が良い感じで
淡くやわらかな色でペイントされています。





街の一部の地域には数十年前に建てられた
おしゃれな建築もあります。
入り口がオープンになってますので入りやすく
それを探しながらの観光もまた楽しいかも。



リヨンからは有名人が多数出ていて
その一つに映画を発明したリュミエール兄弟。



リュミエール兄弟の美術館のような博物館のように
なっている昔の住まいがあります。
ここには昔彼らが撮った世界のさまざまな地域と人々の
映像が流れていて中には日本で撮影された映像も
ありました。

もし、フランス語が分かったら
一日中彼らに関する映画を上映しているの
ですごく勉強になって楽しいはず。



彼らが発明したのは映画だけに留まらず、1890年代に
オートクロームという写真乾板形式のカラー写真も
発明しました。コダクロームが発売されるまで
ほぼ唯一のカラー写真でした。

さらに、医療に関する義手なども発明。

すごい発明家兄弟です。



リヨンにある大きい公園を歩く。

すでに夕方を越したはずなのに聞わらず照る夕日。
ほぼ一ヶ月いるのにも聞わらず慣れない。
日本人ならこの日照感覚に慣れるのは至難の業なのではなからうか。
しかし、こんなにも心地よく散歩が公園でできるのだったら
そらみんなビクニックしますね。
芝生は日本のとは違いふわふわだし。まさに緑の絨毯。



その日の風が吹き抜けることを確認して
TGVに乗りパリへと戻る。

友人には本当に感謝の一言です。
ありがとう。

フランス11へ続く

カテゴリ:

post by 徳田 敬大 | 日時: 2010.07.29 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[明日はどっちだ](#) > 2010年07月 アーカイブ

フランス 9

パリからリヨンへ

マレーシアの英語学校で知り合った友達を訪ねに行きました。

フランス南東部に位置するリヨン。
2つの川が交わる街。

聞くところによると、フランスで三番目に大きい町だそうです。



仕事帰りの友人と待ち合わせをしてアパートへ。

リヨンは歴史地区というものがあり、世界遺産にも登録されています。
友人宅はなんと、その地区の中。

あらあら、良いところへおじゃましたものです。

丘の上に建つアパート。
心地よく涼しい風がバカンスで人の減った静かな街を上ってきます。



友人曰く、
「今はバカンスだからこんなに静かなんだよ。
いつもはもっと賑やかなんだ。」

とのこと。

本当に静かでした。





街で一番のおしゃれカフェ。
のトイレがまたすごいこと。絨開。



パリとはやはり異なる雰囲気を持つ街です。

パリはもっとパリしてますね。
どちらの街もすごく綺麗ですが、
リヨンはもっとこう、抜けがある感じ。



そして、リヨンで一番有名なレストランへ。

ABELという名っぴいです。



今の時期は暑い、晴れているので誰も建物の中で食事はとりません。
だから自分たちも外で。

前菜にフォアグラとサラダ。

フォアグラはパンに乗せて食べてもします。濃厚。



そして、ふわふわスフレらしい食べ物。

正確なスフレが実際どういう食べ物なのか分かりませんが、これは卵と小麦粉やらで作られたものです。熱々のまま出してきて、冷めたらしばむらしいです。キノコのクリームソースと一緒に。

うまし。



レストランの近くの教会ではブルジョアファミリーが結婚式をしていました。噂通りの大きい帽子にカラフルなドレス。伝統的なフランスの結婚式だよ。とのこと。



朝起きると、どこからともなく聞こえるフルートの音。天窓からロフトに寝ている自分にやわらかな風がリヨンの音色を運んできます。ああ、リヨンの音色はこういう音なのか。なんと透き通るような朝。

フランス10へ続く。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.29 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2010年07月 アーカイブ

10.07.16

フランス 8

ブログあげすぎ感がありますが、気にしないようにしておきます。

ボンビドー・センター

行くと前回数年前にフランスに来た時のことを思い出しました。やっぱりその場に行くと、より鮮明に記憶の彼方から響きを感じられます。

懐かしや、パイプの多し美術館。

個人的には今やってる企画展好きです。おもしろかった。





7月14日は日本でいうバリエーション。革命記念日なんだとか。

「キャトルズ・ジュイエ / Quatorze Juillet」です。

友達のお知り合い関係で、
パレードをやるシャンゼリゼ通りの上から眺めてみる事ができました。
ものすごく良く見える特等席です。
やった！ ありがとうございます！



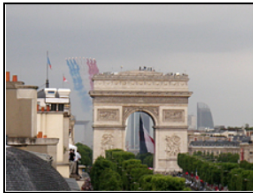
きっと何かの会社のオフィスなんだろう。
あっち側のベランダなんざ混み混み。



パレードの始まり。

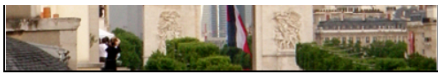
飛行機が今日だけは軽快な快音を鳴り引いて
青、白、赤の三色旗を凱旋門の後ろから作りました。

なんとまあ格好がいいこと。



何だか分からない軍用機がどんと凱旋門の後ろから
快音や爆音を引いて飛んできます。





シャンゼリゼ通りでは軍用車や軍人さんらのパレード。

途中、止まったり動いたりしながら続く
どこからか聞こえてくる音楽に合わせたパレード。
こっちもまた、いろんな機械や服装、軍があることあること。

この行進に参加できることは名誉なことらしく、
行進に参加してる家族はすごくうれいんだそう。

そんな話を聞いていると
こっちに来て以来初めての大雨、どしゃぶり。
気温は一気に下がって、寒いくらい涼しくなりました。

やっぱり涼しいのっていいですね。



パレードの後は今年のフランス留学生の皆さんに
古市さんからの土産を確実にパスしつお会いしました。

フランスをかなり楽しんでいるようで、元気です。

マレ地区にてバリーで一番おいしいと言われている
ファラフェル(コロッケサラダサンドみたいな)を食べながらふらふら。



マレーシアから欧州へ来てから早る週間が過ぎました。

涼しい。
マレーシアにいてなかなか使う機会のない単語。
いくら昼に太陽の光が地面に刺して温度が上がることも
曇りから夕暮れへ変わるにつれて涼しく心地良い風がこの都を吹き抜けます。

涼しいや寒いをもっと言ってみよう。

でも、ほどほどに。

オペラ座が通りの先に見えます。

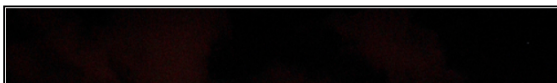


パリ祭の夜は花火があります。

エッフェル塔のトコや郊外のどっかで打ち上げるそうなのですが、
自分はまたもや特等席に行かせていただきました。

これまた景色が美しいこと。

赤い白かワイン片手に、花火はやっぱり綺麗です。





備マレーシア近し。。

フランス9へ続く。

カテゴリ：
post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.16 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[明日はどっちだ > 2010年07月 アーカイブ](#)

フランス 7

パリジャンになる日が続きます。

オランジェリーに行ってモネの大作。
これがまた長くて、
広い部屋2つに4面づつ。

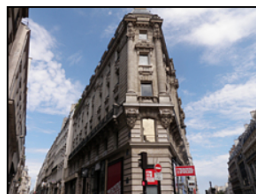
こういう絵画を美しいものと呼ぶのでしょう。
睡蓮の前に立った時のあの感動が教えてくれます。



レアル駅の近くにあるジェラート屋。

これがまたおいしいこと。

たくさん種類があって本当にどれもおいしいのですが
個人的にはマンゴーとキャラメルがたまらんです。

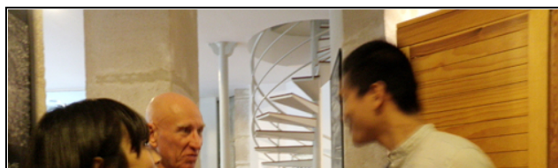


そして、セバスチャン・サルガド氏にご挨拶をしにオフィスへ行きました。

おおおおお。
数年前に会った時よりもやはり
「会っちゃたー！」
のミーハー心が大きくなってました。

正直にうれしい。

またお会いできることを願います。
今度は良い写真を持って。





写真集屋の「明るい部屋」

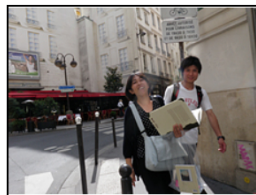
オデオン駅の近く。



また学生とぼったり。

よく会うね。

二人とも良い写真集を買ってやたらうれしそうでした。



古市さんが次回の学生の為にマン・レイのお墓の下見へ行くということで
董丸さんと共にモンパルナス墓地へ。

この墓地には有名人がたくさん眠っていてちょっとした観光地になっています。
無料の名人地図ももらえます。

そして、マン・レイのお墓は DIVISION 7



とはいってもここは墓地なのでお墓がたくさん。

あっちこっちと探しますが、なかなか見つけれませんでした。

マン・レイのお墓を見る二人。



古市さんと薫丸さんが、もらった地図に印をしっかりと付けたので次に行く学生はぼっち行けるといいます。やはり、ちょっと分かりにくいですが。



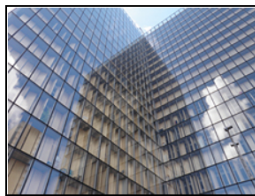
パリっばい建物の最上階は昔、お手伝いさんの部屋だったので小さく作られています。が、そんなこと言っても気になります。あの角部屋。特にドーム型になってる場所はたまりませんね。行ってみたい！！ぎっとドーム型だから、プラネタリウムみたくなってんじゃないか。それとも普通に天井がドーム型??

と、モンパルナスタワー。

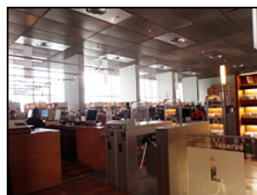


図書館

ただっ広い場所に高い建物。
だから風が強いこと。
冬に来たら凍えそうです。



図書館内。



パリの各区にはアーティスト用の安い建物があります。
申し込みが多いため入居は難しいですが、
ぎっと入ったらすごく刺激になることでしょう。
なんてったって、アーティストと言えど広し。
写真家はもちろん、画家、音楽家、コメディアン、彫刻家、、、その他多数。
挙げればきりがありません。

そんな芸術家の集いし建物。

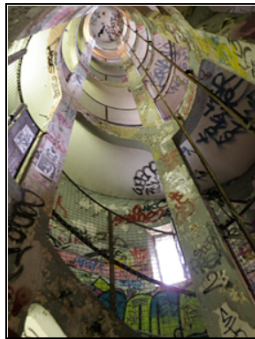




いぎ、中へ。

グラフィティアートに囲まれていて
どこからともなく音楽が聞こえてきます。

アートと言う名の音楽が、香りと共に。



館内は創作のパワーに立ち満ちているようで元気ができます。
が、体調悪い時は強すぎるかも。



パリというと、あの綺麗な彫刻だったり彫られた建物のイメージがありました。

が、そんな訳なくてもちろん団地もあります。
13区だけな。

70年代に建てられたこの団地。
日本では考えられない、4面全部が住宅。
四角い箱があって中に空洞があり、
それを囲むようにして住居がつけられています。
日本だったら日当たりだのなんだの言いますが、
パリはそんなかんじでいいんでしょうか。

そして、今ではたくさんさんの中国語が見えます。



2010年のワールドカップが終わりました。

日本がんばりましたよね。

決勝の日、勝者が決まったと同時に
スペインの国旗をもった人々が狂喜乱舞の喜び。
クラクションも聞こえます。
ソリゃ、うれしいですね。いいな。

日本、次回こそ！

ガンバレニッポン！



フランスへ続く。

カテゴリ：
post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.16 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[明日はどっちだ > 2010年07月 アーカイブ](#)

10.07.15

フランス 6

南仏アルル

フランス語のアルル(Arles)は難しくて発音不可です。
アガルとかアグルみたいな感じ。

アルル滞在中に学生に何度か会いましたが、
なぜか会う人、会う人がほとんど同じ人。
なぜ？
あれだけ小さい町に26人も学生がいるというのに。



すばらし展示もいくつかあり、
FW2こやたくんは、
「もう、この展示会場に布団敷いて寝たい、ここで生活したいです！」
とか言うしまつ。

みんな楽しそうです。





学生が泊ってたホテル良いですね。
アルルの町の中心地からも近いし、バッチリだと思います。
うらやまし。



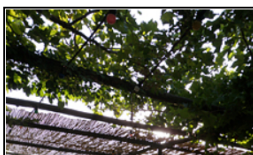
アルルの町から車で40分くらい行ったところに
野菜・ハーブ畑に囲まれた1星レストランがあります。

せっかくなので行ってみました。



レストランの雰囲気は最高で
畑がレストランの回りにあります。
この6ヶ月分の食材が全部穫れるそうです。

だから、食材が新鮮なこと。





大きな蚊帳に囲まれた野外に設置された食事場の回りからは
田舎の鈴虫やかえるの鳴声が涼しく聞こえます。
前菜4つ、メイン2つ、デザートにカフェ

まさに、こういう時間が至福の時なのでしょう。
うまい。うまい。
よくテレビで見えるおフランス料理が食べれてうれしかったです。
でも伝統的ではなく、前衛フランス料理ですが。

あ～～、おいしかった！ 最高！



アルルからの帰り道に乗り換えでアビニョンにちょっとだけ寄りました。

アルルでは写真祭。
アビニョンでは劇のお祭り。

なんと、それがまたにぎやかなこと！

アルルの静かな町の雰囲気とは大違い。
道やらそこら中にやたらたくさんさんのポスター。
大道芸人のいちゃんたち。
すでに役に入りながらチラシを配ってる人たち。

もう、ソリヤ町中が祭りです。



そのまた昔どけいお城のような建物は、
今はパチカンにいる前々前々代ローマ法皇がいた所らしいです。

とにかくすごい人。





そして、アビニョン→パリ



パリに戻り古市さんと鈴木さんと、パリでは有名なうどん屋の「国虎屋」へ。

パリでこのうどんが食べられるのはうれしいものでおいしいなんのって。



その後、二人はギャラリーの下見だのいろいろ仕事をしてました。





晴れの日の昼に地下鉄に乗ると以上に蒸し暑くて。。。でも乗り換えの標識やマップが分かりやすく、良いです。



フランス7へ続く。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.15 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

明日はどっちだ > 2010年07月 アーカイブ

10.07.08

フランス 5

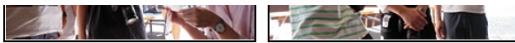
アルルの日々が続きます。

南仏独特の香りを感じる眩しい日を浴びながら、小さな町を歩き写真展巡りをしています。入り組んでちょっと覚えにくいです。

そして、今年度のFWとPAの研修旅行の学生も到着しました。

古市さんとFW3の鈴木さん。
鈴木さんはすっかり大人っぽくなり、気づけばすっかりウエストポーチも似合う働き者のナイスレディーに。あらら、いったい。2年前にマレーシアでスクーリングしてる時に会ったとは思えぬ時間です。早い、はやい。

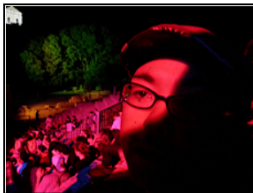
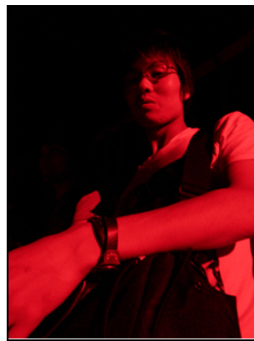




そして、スライドショーへ。

この日は、ライカの賞とロシアン写真でした。

おもしろいぜ。



水曜には市が出ているようで、

野菜、パン、果物から雑貨までたくさん。

マレーシアで毎回見る市とはやはり違う！！
あれも良いですが、こっちの市もおもしろいです。

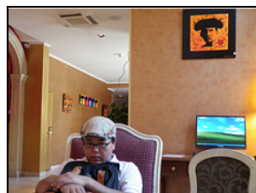


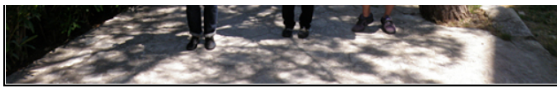


他の通りには、アンティークっぽいざっとした物だとか
手作りだと思われるアットホームな服がでました。



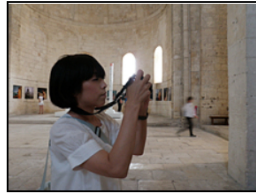
いつになくハイテンションな古市さんと
トラベルマスターの愛弟子のFW3の鈴木さん、
そしてアルルの写真祭がやたらめったら楽しそうなこやたくん
と共に町から約11km離れた小さいお城の展示へ。





町中にはない雰囲気、風景ですごく楽しかったです。

ちょっと遠くてタクシーに乗らないとだめですが
良いトコです。



お城の屋上からの風景も一見の価値ありんじゃないでしょうか。



倉庫に展示してる会場。

やたら広くてかなりボリュームのある展示になっています。
ちょっと暑いので休憩しながらじゃないと
途中でばてます。。



小さい町なので学生たちともぼったり。

あっ。どうも。

アルルはとうですか。



やはり、実際に展示を見るのは良いですね。
違います。

来てよかった！ アルル楽しいです。



フランス語のRは発音すごく難しいです。。
「か」とは違うんですが、喉から出る音みたいなの。。
アルル(Arles)もたまたまなく難しい。

フランス6へ続く

カテゴリ：

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.08 | [ポータルリンク](#) | [コメント\(2\)](#)

明日はどっちだ > 2010年07月 アーカイブ

10.07.06

フランス 4

パリから一路、南仏アルルへ。

FW2年生の時から写真祭へ行ってきました。

パリ・リヨン駅から約4時間。





車窓からはずっと牧歌的な風景が続き、アルル駅に到着すると、南仏の強い日差しと確実に上がった気温が肌に強く感じました。暑い！



数年前に訪れたこの地。

ほぼ土地感が消えていて、街並すらも危うい記憶となっていました。この今年の写真祭のチケットが買える、町の中心っぽい市役所前広場でさえ危うい記憶。あれっ??

ここは、あっ！来たことあった。と。それにしても人柄がバリとは違います。もっとこう、快活です。



今年のアルルのキャラクターは流し目のピンクサイ。町の至る所でサイを見かけるので、だんだん親近感が湧いてきます。サイのグッズがTシャツやバックとかがあって、ちょっとほしくなっちゃいます。





写真展は有料のと無料のを含めて、町のさまざまな場所で行われています。

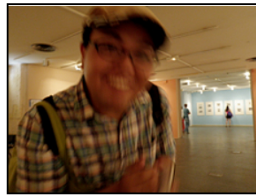
昔の修道院、教会、民家、カフェなどなど。



とか思って、町をぶらついでると、、、

あれっ!!!!!!!!!!!!

どっかで見たことあるハンチング帽の人が!!



ご存知の方も多いでしょう。

そう、FW2期生のこやたくんです。

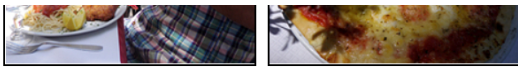
せっかくなので一緒に写真展へ行くと、
そりゃまた、真剣に写真に向き合っています。



数日間一人で過ごしていたこやたくん。

久しぶりに人と話したようで、うれしそうです。
さらに昼食に入ったレストランの量が多すぎる。





写真持ってきてんなら、写真を見てもらうイベントがあるよ。
14時から予約がスタートだから、せっかくだから見せに行ったら？

との、話から予約をしました。
ファイツ！



この日は町の中で無料・無差別パーティーが開かれていました。
自分らは日本の写真家の瀬戸正人さんのパーティーへ。
少しお話ができてうれしかったです。

その後、
こやたくんが写真を見せに行き、帰って来たと思ったら

やたら笑顔。

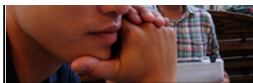
あれっ！！ まさか！！ うわっ！！ まじでか！！

何故にうれしかったかは本人から聞いてもらって、
自分からはちょっと言いにくいので。。
よかったね！



そして、壱丸さんとも合流して夕食。





現地時間の今日の夕方からは写真学校の生徒たちが来るようで、それもまた楽しみです。

フランス5へ続く

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.06 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2010年07月 アーカイブ

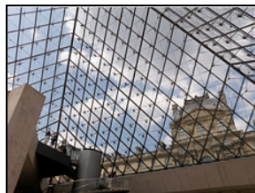
10.07.04

フランス 3

パリの地下鉄はやたら複雑です。全く覚えてません。

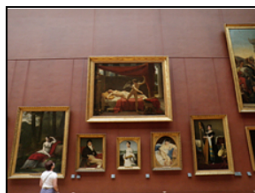
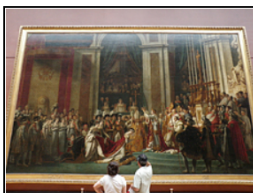
東京はおそらくもっと複雑なのでしょうが、なにぶん観光客なもんで、路線がやたら入り組んでるように見えます。チケットは1回券で買うか、10枚綴りがあります。自販機にて。

そして、ルーブル美術館へ。



これがまた、デカイの広いのなんたって！

部屋も広いし天井も高いし、そして大きい画はほんとうに大きいです。



教科書で見たことあるものがたくさん。

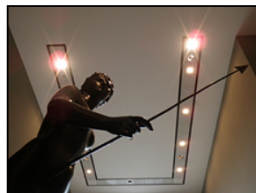
なんと素晴らしい美術館でしょうか。。

FWD 2年生だった時に来た初海外旅行のフランス。その時のルーブルは広すぎて3時間くらい館内をぐるぐると散歩したのを思い出しました。

とにかく広いし、迷子になります。

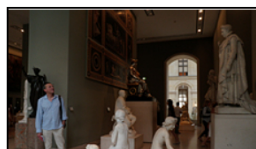
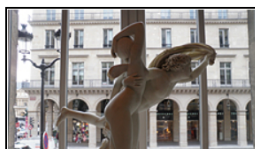


モナリザが一番厳重に守られていて、
やたら人も多いです。



有名絵画や彫刻の回りなど、人がすごく多いところあれば、
館内が広いからでしょうか、人が全然いないところもあります。

もしも、人の少ない場所に自分の好きな物があたらゆっくり見れるでしょう。





今回も途中からばてて、半分散歩になってしまいました。



昔々こういう生け垣が作られた理由を聞きまして、ちょっと納得。

今も変わらず現役で機能しているようです。
自分はぜったい近寄りませんが……。



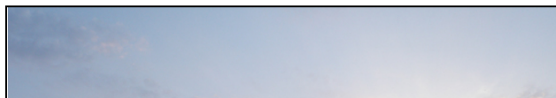
あのクラシックの映画館の特別上映会がパリ市役所であったので、連れて行ってもらいました。

映画を見るとパリが本当に美しい都に見えます。
あー楽しかった。



自分はマレーシアポルネオ島の夕日がすごく綺麗なので大好きなのですが、このセーヌ川の夕日もなかなかです。

毎日同じ顔を一度として見せぬ、この空と川と夕日。
美しい街並を照らし、より一層パリをパリたらしめさせます。
にくいぜ。





オペラ座の近くのAAA。日本食街にも近いです。
呉学園の留学制度はここへ行くのですね。

そして、堯丸さんも行くと聞いたので
今年の留学生である荻さんにそこでお会いしました。



なにやらクラスメートと共になければいけないミーティングがあったらしく
さりげなく参加。

自分にはフランスのことは全然分かりませんが、ファイツです！



その後、堯丸さんと共にバリ映画祭の日本映画へ。
若松孝二監督作品を見ました。

時間が無かったので、一つしか見られませんが
一晩中いるんな映画を上映し続けます。



と、楽しいバリ訪問生活が続いています。

今日から急に涼しめです。そして、曇り。
個人的には晴れて、暑い方が好きなのですが。

明日からはちょっと他の町へ移動です。南仏へ。
暑くなるはず。

フランス4へ続く。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.04 | [ホームリンク](#) | [コメント\(1\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2010年07月 アーカイブ

フランス 2

最近のバリは晴れが続いています。

こんなに晴れが続くことは珍しいんだとか。
ちょっと、たまに暑すぎますがいい天気恵まれることは良いですね。





パリにもいろいろな場所があることを教えてもらいました。

中心の中心はすごく、パリ！
をイメージさせる場所で、ほんとにパリっばい場所ですが
中心から離れると移民街や普通の住宅地だったり、
建物も普通の現代的な建物になったりします。



パリのカフェではだいたいエスプレッソを飲むそうです。安いし。
だから、いや、何やらエスプレッソを飲みたくなってしまう街なのかもしれません。
ドゥ・カフェ・シルブプレ って。

友人宅に居候中なので朝は犬の散歩をしています。
ちょっとはマレーシア色が残って、パリジャンになれてるでしょうか。。
マレーシアでいいですけども。



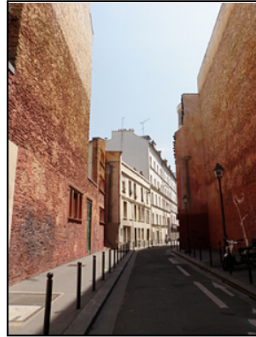
日本での元アルバイト仲間とともに
パウロペレグリンのファッションマガジンのパーティーへ行きました。

自分なんかが行っていいものか。
いいのだろう。おそらく。びびったらいかん。

パウロの写真がプロジェクターにて大きく流されていたり、
シャンパンやチーズ、ブドウ、ウォッカ、パンなどがあったり、
DJが音楽流したり、
業界の人々と思しき人がたくさんいたりしてました。

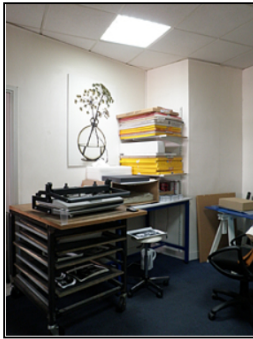
しかし、
こういう状況におかれると、フランス語を話せない自分がすごくもどかしいです。





写真のラボ。

暗室もあるし、デジタルラボもあります。



区役所。

パリはいくつかの区に分かれていて、
各々に区役所が置かれています。
立派です。



友人の友人の誕生日会。

公園の芝生でピクニック風な清々しい誕生日会。

こういうの良いですね。





セーヌ川の夜景もまた綺麗です。
が、こんなにまっ暗になるには、ちょっと時間がかかります。
暗くなった。と思ったらすでに夜も深まるころ。
日本に生まれたらこの日の長さに慣れるのは大変ですね。
冬はやはり日照時間が短いし。

そして、最近の月はやはり低い位置にあります。



フランス3 へ続く。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.04 | [ホームリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどちらだ > 2010年07月 アーカイブ](#)

10.07.02

フランス 1

ロンドンから移動して、現在パリにいます。

ここにて写真をオリンパスくんであいまい撮りますが、
見れば見る程、鉄板の定番観光写真。
エッフェル塔に凱旋門、ルーブル美術館にセーヌ川、その他多数、、、
自分が観光客だから仕方ないですね。

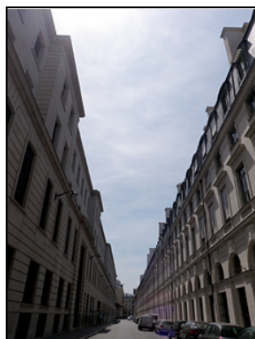
つい2週間前までほんとに冬の気候だったと聞いたのに、
完全に今は夏の気候です。

あーー、暑い (マレーシアよりカラッとしてるけど。)

ロンドンもかなりの観光客がいましたが、
パリも負けじと大量の観光客たちがいます。
どこへ行っても人だらけ。さすが世界有数の観光地。

しかし、やはりパリ中心の街並はすごい綺麗ですね。

そしてフランスパンがおいしい。





写真学校に入って2年目に来た、初海外旅行の地がこのフランスはパリでした。

それからというもの、少しは世界が広がった気がします。
以前来た時に見るもの全てが新鮮すぎて、緊張しすぎて、
それが今では、前回気づかなかったところまで目がいきます。。

ああ、パリってこんなだったんだ。 って。



凱旋門。

大きいです。
そして、ここは凱旋門を中心に12交路になっています。

凱旋門の上に登れるのですが、人の多さで渋ってしまい、断念。

でも下からだけでも十分楽しいです。





エッフェル塔の近く。

今回こそは期をみてエッフェル塔に上りと思います。



薫丸さん宅にてうどんとそばを頂きました。
最近手打ちにはまってるらしく、自分もうどんを打たしてもらいました。
ごちそうさまです。
日本食最高！



セーヌ川とシテ島。



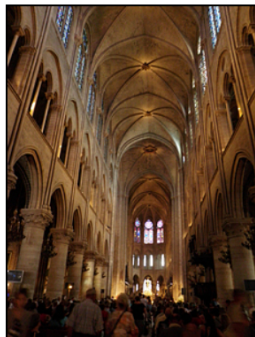
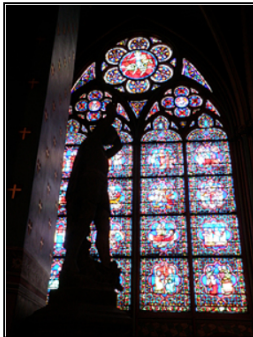
シテ島にあるノートルダム大聖堂。





ステンドグラスがすごく綺麗です。

しかも、ここは入館無料！



なんというベタな写真でしょうか。。

しかし、ここが画になってしまうから仕方ないです。
実際綺麗だし、バリっばいですし。





アンリ4世の像。

今は現代アートに囲まれてジェダイの騎士になってます。

彼の像があるこの橋は、パリで最初の人が行くための橋だそうです。
前は、家が並んで橋になってるやつだったそう。



そして、彼の目の前にある建物がパリでもっとも古い建築の一つです。
え〜〜と。何年前でしたっけか。

そして、最初の中庭公園。

きっと彼のアイデアは当時としては先進的だったでしょう。



ルーブル美術館。

ここが最初にできた建物で、
その後どんどん増築を繰り返して今の規模になりました。

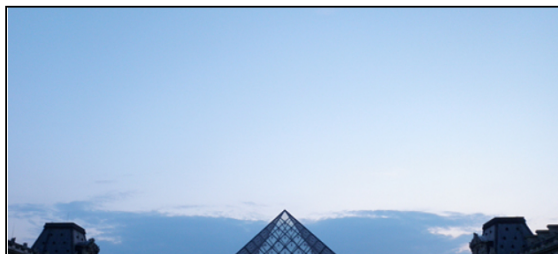
そのため、建物によって建築様式が違います。



と、数年前にできたガラスのピラミッド。

最初は異論もあったらしいのですが、
このピラミッドが予想外に景観に合っていたので、
その声もだんだんと薄れていったんだとか。

なんせ綺麗ですから。





しかし、この日の長さは慣れませんね。
この夕焼けで9時すぎとか。

自ずとふらついてしまいます。

それにしても、パリの中心はほんとにパリできる場所です。

あ~~~~、楽し。
マレーシアに無い物がやはりたくさんあります。

フランス2へ続く。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.02 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[明日はどちらだ > 2010年07月 アーカイブ](#)

10.07.01

イングランド 3

さてさて、ロンドンのビックベンも見えました。

ロンドン最高!

ここはやはり良い街です。
そして、KLよりも多民族ですね。ありゃ。

しかし現在は観光シーズンまっさかり。
どこに行っても、人・人・人々。。。



2年前にマレーシアで英語の勉強をELSで始めた時に会った友達が
現在ロンドンに住んでいるので会いました。

こういうのも良いですね。
もう二度と会えないと思っていたのですが、会えるなんて。

あー、ロンドンに住めるなんて良いなー。

いつもお世話になってるツーリズム・マレーシアを見つけ
うれしくなりながら楽しんで話しました。





トラファルガー スクエア



チャイナタウン

KLのチャイナタウンとは大違いです。
がしかし、個人的にはKLの方が好き。



テムズ川。

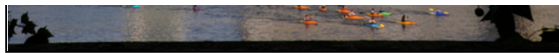
欧州側に来た最初の時は、むさくさ寒くてビックらこきました。
現在は完全に夏。

でも欧州側の夏と、常夏の国マレーシアのトロピカルな暑さは違います。

あれ?? 今、暑い?? とかほざく自分。

いやいや、確かに暑いですが、、マレーシアって暑いですからね。
暑さの質が違います。
もうちょっと、カラッとします。





ロンドン郊外のキュー植物園

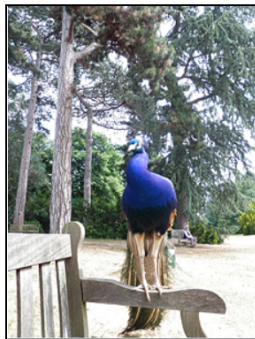
芝生がまたふわふわで気持ちが良いんです。
すごく柔らかくて、そりゃねっ転がる人たちもたくさん。で自分も。



ベンチに座ってたら、突如クジャクが襲撃にきました。

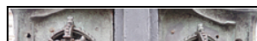
おっ！ っとびっくり。

何？ 匂いとか雰囲気がマレーシアだから見に来たのでしょうか。



日が長いので夜遊ぶのが楽しいです。

あー、楽し。





Buckingham Palace.



この、あの有名な、小さい時から横浜ドリームランドで見てきた「あれ」にとうとう現実的に対面しました。

身長数十センチアップですね。

左の人、軽く2m越えるように見えました。



ポートレイト・ギャラリーでポートレイト絵画に囲まれて圧倒されると、

あれっ！？ あれれれれれ？

これはっ！！

マレーシアはボルネオ島、サラワク州の白人王、ホワイト・ラジャ、ジェームズ ブルックの本物の肖像画じゃないですか！！
なんということ！！

サラワク州の歴史にはとても重要な人物なので、一人で本気でびっくりしてました。

ここにあったとは、感動的です。

そしてライオンキング見て、役者さんのほとんどが黒人さんたちで
雰囲気尋常じゃなくアフリカ、サバンナ。
こっちでも感動しました。





そして、ユーロスターにて華の都→パリへ。



乗ってすぐに寝てしまったので、気づいたらフランスに入っていました。
ちょっとはトンネルに入った感を楽しみたかった。

そして、ロンドン最高！

現在パリです。

フランス1へ続く。。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.07.01 | [バナーリンク](#) | [コメント\(4\)](#)

カテゴリ: